

## ジャカルタージョグジャーソロ（現地下見レポート）

秦 茂

1982年6月11日、私はジョグジャカルタのボロブドール遺跡を見下す展望台に立っていた。ここでは翌年11時29分には皆既日食の最大を迎える筈なのである。この時刻、コロナ観測のために要求される空の透明度は決して良いとはいえないし、さらに雲が山側から発達し始めて、太陽の方向に向かって拡がって行くのである。もうすぐあの雲は外部コロナに達するかも知れない、丘の上に一人で立っている私にそうした幻想が横切る。

— — —

ふと一サロス前の1965年5月30日の南太平洋日食を思い出す。完全に晴れた日食直前の空に第一接触後、地平線のかなたに出来た小さな雲のかたまりが見る見る内に欠けて行く太陽を被って行く光景を、である。私にはボロブドールの丘の雲の行き来が、きわめて不自然なものに思われてならなかったのである。しかしその不自然さの理由が判明したのはそれから2日後、ジョグジャカルタを出発する日であった。それについては後で述べるが、統計的には、最近3年間6月11日を中心とする一週間の天候は中央ジャワではずっと晴天つゞきなのである。

### ジャカルタ

人口650万人のこの都市には、十分なホテル、そして東京、大阪と同じ様にビルディングが立ち並んでいるが、同時に私たちのような古い世代の人たちにノスタルジヤを感じさせる様な古いたたずまいも、ここにはある。私の泊ったホテル・プレジデントから歩いて行ける範囲に有名なプラネタリウムがある。東独ツアイス製で400人は収容できる。赤道帯で使用できる星座早見盤が売られているし、まだ一年前なのに日食ファンのための、日食Tシャツもあった。あなた方が押しよせたら、あっという間に売り切れてしまうのではなからうか。

ジャカルタには商社、建設会社、日本航空などの関係で7,000人以上の日本人が居住している。また郊外にはホンダ自動車の工場も建設されつつある。8年前に長野県の今井先生と訪問した日本人学校には、プールの施設も出来たし、生徒数は800人にも達している。

ジャカルタでは特に盗難が多い。最近の出来ごとであるが、日本人の集っている地域で夜間駐車している車のボンネットの内部が全部抜きとられていて、翌朝キーを入れるまで分らなかった、などという信じられない様な盗難があったとのことである。

怖い話も一つ、つけ加えておこう。時に起こる事件の一つで、凶器は三ヶ月型の鎌が使われる。暗い場所で、首すじにその鎌をあてたまま、“時計を外せ”“財布を置いて行け”とやられるのだという。対策としては是非4～5人でまとまって歩いてほしいし、明るいメインの道路を歩けば、この様な目に合わないですむ。若しどうしても暗い所を1人か2人で歩きたいのだったら、こうした時はさっさと腕時計でも渡して、怪我をしないでよかったと楽天的に考えるようにつとめることだ。

### 空港・税関について

インドネシアの税関職員は、空港での申告書と実際の物品が違っていると何とか文句をつけて、多少のお金を請求するといわれている。従って参加者は、6ヶ月前には全員のカメラ、望遠鏡・ビデオなどの携行品リストを作成し、グループ・リーダーはさらにリストのインドネシア日食委員会への提出、税関ではリストにそえて、インドネシア大使館のお墨付きまで揃えておくと、税関での不快感をさけることが出来るし、ホテルでの早い休息が可能になる。何しろ、インド、インドネシアでの通関のおそさは有名である。

また市街を歩くときも同様であるが、高価なビデオ、カメラなどはむき出しにしないで、ケースか、カバーに入れて持ち歩く様に注意してほしい。

ポーターには大体トランク一個について100ルピア位のチップを払えばいい。多分空港・ホテルに着いた時は、皆さんはドルの持合せしかないと思いますが、ドルからルピアの換算はすぐに出来るし、間に合わなければ“1ドル=650ルピア”の換算を思い出して下さい。換金の率は銀行、ホテル、レストランの順に悪くなることも覚えておいた方が良いでしょう。

### 水と病気について

ホテルの部屋に持って来てくれるポット内の水以外は絶対に飲まないように気を付けて下さい。沸した湯をお願いして、ティーバックでお茶にでもして飲むのはもっと安全です。外で食事をするとき、例えばフルーツを冷すための氷がのせられている時など、氷は口に入れない方が安全です。神経質な人だったら、コココーラなどを注文する時は栓を外さないままのビンと栓ぬきを持って来させると良いでしょう。

病気としては、コレラと疑似赤痢の心配があります。入国の時に証明書(イエロー・カード)は不要ですが、コレラの注射位は打っておいた方が良いでしょう。なおコレラの注射は半年で効力を失うので、来年になってから2回式の注射を、それもあまり渡航直前でなく受けておくのが良いでしょう。人によっては注射で発熱することがあります。

一般的な健康上の注意としては、生水はダメといいながら逆説的だが、バテないためには、水(あるいはビール)をたくさん飲んだ方がいい。絶えず汗をかいているので、脱水症状になるのを避けるためである。

### 宗教とシエスター

インドネシアにおける宗教は、回教(イスラム)、ヒンズー教、仏教、キリスト教の四つがある。一寸理解できないのは、無宗教イコール共産主義と考えられていることである。

1945年の独立以来、二代にわたる大統領がイスラム教徒であったことも原因して、この国ではイスラム教が最も優遇されているし、早朝4時を1回目として日に5回の礼拝も、絶食の習慣も守られている。日中温度31°という暑さと、礼拝が毎朝4時という習慣のためからか？朝は7時半から始められている銀行は午後1時には、官庁は1時半には閉っているので、気をつけないと旅行者にとっては大へん不便である。1時からシエスター(ひるね)の時間

が守られる。一部の銀行、店舗は夕方再び開かれる。

#### ジョグジャカルタ(以下ジョグジャと略称する)

滞在3日間の予定であるが、第一日を市の南丘陵と海岸、第二日目は中心線に近いサラン、ポロブドール周辺、および市内に観測適地を探がすこととした。三日目はジョルジャから約60 km のソロ(スラカルタ)行を予定した。

第一日(㊸、㊹、㊺……については、レポートの最後に付けた地図を参照して下さい)

日食委員会から各地の条件(ホテル状況、食事の良否、皆既中心線からの距離、高度)、天候などについてのレポートが出されている。その中でジョグジャの項に、市内は観測に適当ではないが、南の方の郊外は観測に適していると書かれていたもので、市から(正確にはホテルから)28 km のプラヤン近くのサッカー場(地図上の㊺)、それに近接したゴルフ場㊻、に行ってみた。展望も良く、足場もしっかりしている、もう一つ良い点は市内と比べて極端に人口の少ない点である。ここには合せて1,000人以上の観測者が収容できる。

二ヶ月前の火山噴火の際の火山灰が屋根や丘に生々しく残っているのを、眺めながら海岸に回った。

ジョグジャに最も近い海岸(地図上の㊼)は約23 km、ホテルからは20分の近くである。十分に広いスペースだが、三脚が砂に埋もれる心配がある。少し狭いが海岸に隣接したサッカー場の方が良さそうである。この場所の良い点は海岸に粗末だが、ホテルが一軒あって夜の12時まで売店が開いている点と全く電気が送られて来てないので、夜間の天体写真の時に全く町の灯がないのも素晴らしい。但し海は遊泳禁止になっている。この辺の砂は鉄分を非常に多く含んでいるといわれる。すでにその調査が行われていて、この附近に製鉄所が建設される予定になっている。第一日目の夜はホテル7階のレストランで宮庭舞踊を見た。

#### 第二日

皆既中心線に近い、サランのサッカー場(㊽)に行く。近くにマーケットがある他、学校と軍の施設があった。ここだけでも300~500人の観測者が収容できる平坦地である。ポロブドール寺院には、日食の時に相当数の観光客が押しよせるであろう。しかし100ルピア払えば、構内に入れるのだし、コロナとポロブドール寺院のとり合せは、素晴らしい絵になりそうである。

この寺院は約1200年前の建造物で底辺は120 m × 120 m の正方形、高さは42 m である。一つ一つの彫刻に目をうばわれていたら、見物に3日位かかってしまいそうである。今から200年前に、火山灰と椰子の密林に埋もれていたのを、イギリスの探検隊によって発掘されたという。寺院の埋没が人為的だったか、どうかについては現在不明だとのことである。

ポロブドールから南2 km (地図上の㊾)に、展望台が建設中だということで、その高台に約170段の階段を登って行って見た。ここまでは車が入らないので、小型望遠鏡をかついで、この丘にのぼるのは、さぞ大変であろうが、前方に小さく見えているポロブドール寺院、遠く

の山々、私には大へん気に入った観測地の一つであった。

アメリカ海軍天文台の局地予報によると、この附近の食の最大は11時29分(現地時)であるが、この時刻に合わせて私はこの展望台に登って見たわけである。午後は市内の観測適地について調べて見た。例えばホテルの構内はバスや車にたよる心配がないし、器材の運搬、飲料水、トイレにいたるまで快適なのである。シェラトン・ホテルの屋上に許可を得てのぼって見た。ここの屋上は、貯水槽の小屋の他に配管が張りめぐらされていて、北方の空に向けて、小型望遠鏡をおけるスペースは極めて少い。30人分位であろうか。市の広場としては、サルタン王宮前がある。サルタン王宮の見物もかねて、この広場を見に行く。おそらく日食当日は、現地人、観光客を含めて、この広場は相当の混乱が予想される。もしも適切な縄ばり、警官の配置がなければ安心して観測できないのではなかろうか。しかしこの広場には、何千人もの観測者が入っても十分なほどのゆとりがある。日食に良く利用される観測地として空港がある。ジョグジャの空港の構内、あるいはその周辺について問合せをして見た。それによると現在、ジョグジャの空港はインドネシア空軍の管轄下に入っているため、事前に了承を求めるのは困難であろうとの説明があった。インドネシア政府は、来年の日食については、積極的に事はこんでいるので、或いは空港も使用可能になるかも知れないが、現時点ではペンディングである。

### 第三日

ソロはジョグジャから車で50分位の市街地であるが、ジョグジャの人口45万に対して、この市の人口は60万近くである。多分この市のローカルカラーなのであろうか、走っているベチャは皆赤く塗られていた。ここではソロのサルタン王宮と博物館、ブンガワン・ソロの歌で有名なソロ川を見物した。期待していた、ブンガワン・ソロは大きな河であるが、河の水は濁っていて、一寸ガッカリした。これも火山灰の混入のためであるとか。

ソロからジョグジャに帰る途中、ヒンズー教の寺院“ブランパナン”に立ちよった。ブランパナンはジョグジャの東15kmにあり、細身の処女の像は有名である。ポロブドール寺院を男性的とするならば、ブランパナン寺院は女性的で、きわめて対照的な寺院である。

さて翌朝はデンバサルに向ったのであるが、この朝、気になっていた空の透明度、雲の往き来について、どうにか納得がいったのである。

### ジョグジャ附近の気候について

一般的にインドネシアは高温、多湿である。先に気温31°と書いたが、ここでは夏、冬の気温の差は殆どない。あるのは雨季と乾季の二つで、幸い6月は乾季に当たっている。空の透明度は丁度日本の夏のように白っぽいのだが、私は雨季から乾季への移り変りで、水蒸気が日射で立ちのぼっている状況であろうと考えていたのだが、それに加えて、インドネシア政府では前日まで、航空機による人工雨の実験を繰返していたのである。山側で降雨の成功率は40%ということであった。従って、海岸、都会地、丘陵での空の微妙なちがいを調べようと考え

ていた私は全く人工雨の実験に振りまわされていたことになる。ポロブドールの丘での雲ゆきの不自然さをこの朝やっと了解できたのである。

#### 害虫について

郊外の草むらには、蛇、クモ、それにサソリまでいる。手入されたサッカー場、ホテルの庭だったら、南十字星、ケンタウルス $\alpha\beta$ の撮影には全然問題がない。蚊はほとんど気にならなかったが、日本から蚊とり線香、あるいは身体につける虫よけのスプレー、ムヒなど持参して行けば安心である。なお植物にたかっている赤い蟻は刺されると、はれることがあるので要注意。

#### まとめ

##### ☆ お金のこと

- (1) 1アメリカドルは650ルピア(1962年6月現在)
- (2) チップ、ベッドメイキング(毎朝)は枕の下に100ルピア・スーツケース運搬のボーイにも1個あたり100ルピア(26円相当)程度
- (3) ドライクリーニング スーツ3,250ルピア、ホテルの朝食 2,500ルピア の程度

##### ☆ 施設の利用について

- (1) 博物館、王宮などの見学は午前中のみ開放という所が多い。
- (2) 銀行、官庁は朝7時半に始ってそれぞれ1時、1時半に閉まる。ただしホテル内の銀行などは、夕方もう一度開いている。
- (3) ベチャは乗る前に行き先と料金をはっきりすること。日本人は特にボラれることがある。
- (4) 電話は25ルピア(コイン)を入れて番号をまわすだけで簡単に使える。

##### ☆ 電源と時刻

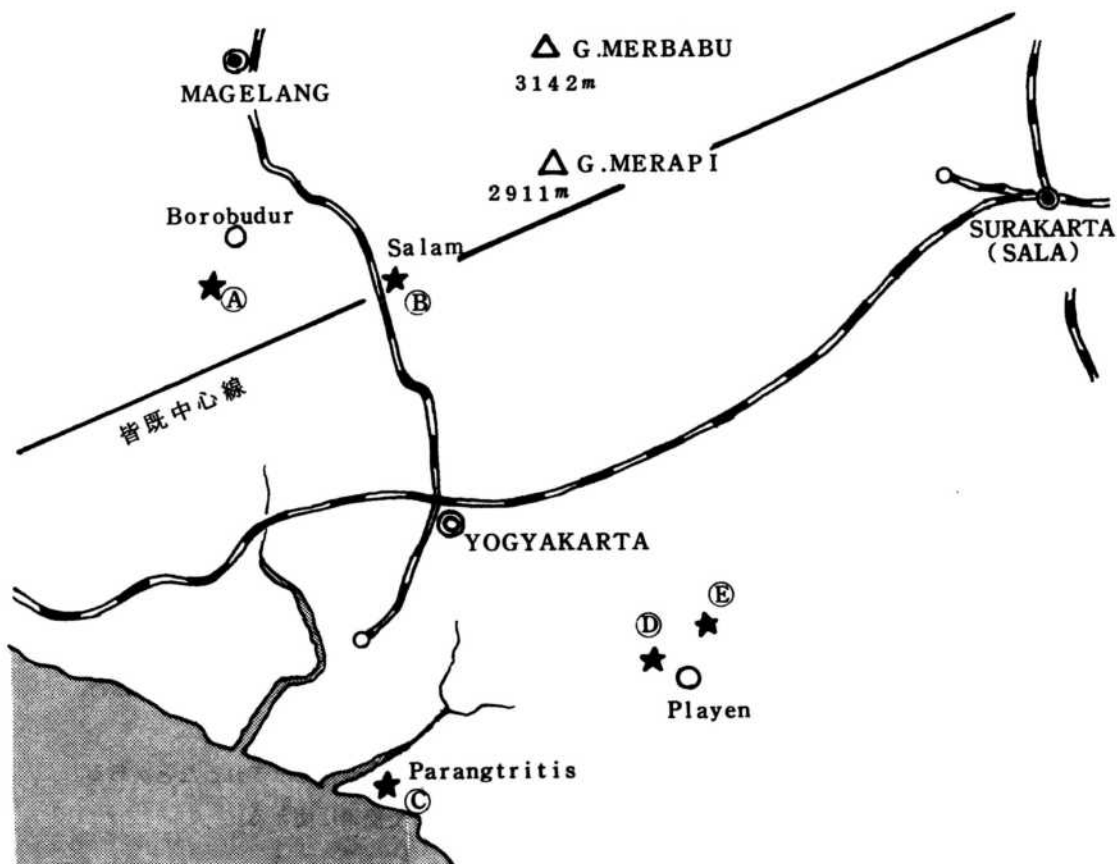
- (1) 電源はジョグジャでは110~120ボルト、と220ボルトの二本立て、周波数は60ヘルツ(サイクル)。コンセントは日本のと違って先きが円とう形である。
- (2) 時刻について

世界時+9時間=日本標準時

世界時+7時間=インドネシア標準時

日本時-インドネシア時=2時間

10年前までのインドネシアでは乾季に入ると森の緑が黄色に茶褐色に変色していたのが、人工雨その他のインドネシア政府の努力で、山に緑がよみがえってきたのだといわれている。しかし、来年の日食前、数日だけは、人工雨の実験を中断していたべくことを希望しながら、このレポートを終る。



★ 観測候補地

- ① ボロブドール展望台 (40 km、20~30人)
- ② サラン近くのサッカー場 (30 km、300人)
- ③ 海岸 (23 km)
- ④ プラヤン近くのサッカー場 (28 km、300人)
- ⑤ " ゴルフ場 (1,000人)

• キロ数はホテルからの距離

• 人数は推定収客数